

6年8月 国語科

領域 C 読むこと
単元名

作品の世界を捉え、 自分の考えを 書こう

教材名「やまなし」

光村図書

執筆 神奈川県横浜市立港北小学校教諭

編集委員 文部科学省教科調査官

神奈川県横浜市立東汲沢小学校校長

鈴木裕乃
大塚健太郎

丹羽正昇

年間指導計画

- 4/5月 視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう
話の内容をとらえて、自分の考えをまとめよう
筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
- 6/7月 具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書く
本は友達
- 8/9月 **作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう**
対話の練習
- 10/11月 目的や条件に応じて、計画的に話し合おう
表現の工夫をとらえて読み、それをいかに書こう
- 12/1月 伝統文化を楽しもう
筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう
- 2/3月 資料を使って効果的なスピーチをしよう
登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう

1 単元で付けたい資質・能力

①身に付けたい資質・能力

物語を読み、作者の表現や言葉から豊かに想像し、作品のもつよさを感じ取る力を養うことをねらいます。それに加え、作者の生き方や考え方についても捉え、作品の世界観を作者の生き方や表現されている言葉を根拠に想像力を広げて読む力の育成を目指します。

②言語活動とその特徴

本単元の言語活動は「物語を読んで想像したことをもとに、考えたことを伝え合う活動」です。「やまなし」に表された世界を、そこで使われている言葉や表現をもとにしながら想像し、自分の考えを書くためには、複数の叙述を結び付けたり、表現の効果を考えたりすることが大切です。また、作者による独特な表現に着目し、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識することも重要です。それらを書評という形式で表す際には、自分の考えが独りよがりにならず、書評を通して作品にふれる読者のことを意識する必要があります。

【今回の書評の項目】

○初め…あらすじ 作品との出会い など

○中…作者や作品の特徴、引用など（作品の中で心に残ったところや作者の考え方や生き方に関わるところ、表現のよさについて）
○終わり…自分の考え（作品を読んで感じたことや考えたこと）

指導事項【知識及び技能】（1）オ

〔思考力、判断力、表現力等〕C (1) エ・オ 言語活動 イ

2 単元の展開（8時間扱い）

主な学習活動

次時	一	二	三
	1・2	3～6	7・8
	<p>①「やまなし」を読んで、初発の感想から疑問を整理し、学習計画を立てる。</p> <p>学習課題 自分が想像した「やまなし」の世界を書評にまとめ、友達と感想を伝え合おう</p> <p>②「書評」にはどのようなことを書いたらよいか新聞の書評や教師のモデル文から考える。 アイディア①</p>	<p>③④「やまなし」を読み、独創的な表現や優れた表現を抜き出し、宮沢賢治の人物と物語とを関連付けて想像する。 アイディア②</p> <p>⑤自分が想像したことをもとに、作品を通して作者が伝えようとしているメッセージをまとめる。</p> <p>⑥「やまなし」の書評を書く。</p>	<p>⑦「やまなし」の書評を読み合い、他の人の感じ方や捉え方から新たな気付きを得て、再度「やまなし」を読む。 アイディア③</p> <p>⑧今回の学習を振り返る。</p>

6年9月 国語科

領域 A 話すこと・聞くこと
単元名

話を聞き合って自分の考えをまとめよう

教材名「いちばん大事なものは」

光村図書

執筆 神奈川県横浜市立大鳥小学校教諭

編集委員 文部科学省教科調査官

角田峻介

神奈川県横浜市立東汲小学校校長

大塚健太郎

丹羽正昇

年間指導計画

4/5月	視点のちがいに着目して読み、感想をまとめよう 話の内容をとらえて、自分の考えをまとめよう 筆者の主張や意図をとらえ、自分の考えを発表しよう
6/7月	具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書く 本は友達
8/9月	作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう 対話の練習
10/11月	目的や条件に応じて、計画的に話し合おう 表現の工夫をとらえて読み、それをいかに書こう
12/1月	伝統文化を楽しもう 筆者の考えを読み取り、社会と生き方について話し合おう
2/3月	資料を使って効果的なスピーチをしよう 登場人物の関係をとらえ、人物の生き方について話し合おう

1 単元で付きたい資質・能力

①身に付きたい資質・能力

互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができるようにします。ここでは、メンバーを変えながら、同じ話題で語り合うことで、友達は話題に対してどのような考えをもっているか知るとともに、自分の考えを広げたり、深めたり、新しい視点を見付けたりしていく力の育成を目指します。

②言語活動とその特徴

本単元の言語活動は「立場を明らかにして友達の考えを聞き、話題に対する自分の考えをまとめる」活動です。話題に対する考えを、それぞれの立場を意識して話し合うことで、自分の考えを様々な視点から広げたり、互いの考えを比較したりしながら、自分の考えをまとめられるようにしていきます。そのためには、最高学年として何か月か経過して感じていることや、これからの生活に生かそうとするものなど、いまの自分の立場を明らかにするとともに児童に必要感のある話題を設定することが大切です。

また、話し合うグループと観察するグループに分かれて活動することで、友達のよい話し方や聞き方を自分たちの話し合いに取り入れるとともに、客観的に話し合いの様子を捉え、その価値を自覚できるようにします。

2 単元の展開（3時間扱い）

主な学習活動

次	時	
一	1	<ul style="list-style-type: none"> 話し合う話題を決め、自分の考えを書く。 グループで考えを交流し、自分の考えをまとめる。 話し合いをするグループと観察するグループに分かれる。 <p>アイディア①</p> <p>学習課題 話を聞き合って自分の考えをまとめよう。</p>
二	2	<ul style="list-style-type: none"> 話題に対する考えを交流する。 グループのメンバーを変え、初めのグループで出た話を報告してから話し合う。 話し合いを終えた時点での話題に対する自分の考えをまとめ、再度、初めのグループで交流する。 <p>アイディア②</p> <p>アイディア③</p>
三	3	<ul style="list-style-type: none"> 話し合いの振り返りをする。 話し合いを通じた自分の考えの変容について振り返る。 話し合いの価値・意義について振り返る。

また、話し合った内容を記録しておくことで、話し合いの内容を整理するとともに、自分の考えと友達の考えの共通点や相違点を整理しながら、話題に対する自分の考えをまとめることができます。

指導事項 「知識及び技能」(1)オ
「思考力、判断力、表現力等」A (1)オ 言語活動 ウ

6年 8月 算数科

単元名 円の面積

執筆 埼玉県桶川市立川田谷小学校教諭 関 裕也
編集委員 文部科学省教科調査官 笠井 健一
浦和大学教授 矢部 一夫

年間指導計画

4/5月	点対称 分数のかけ算
6/7月	分数のわり算（わる数が1より小さい） 割合の表し方（比、比と比の値）
8/9月	円の面積（色をぬった部分の面積） 拡大図と縮図（導入）
10/11月	場合の数 比例と反比例（反比例）
12/1月	資料の整理（度数分布表） データの活用
2/3月	6年のまとめ（1）（変化と関係） 6年のまとめ（2）（考える方法と表現）

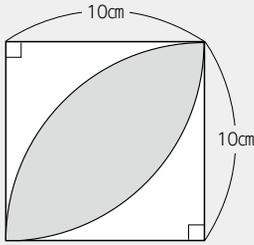
本時のねらいと評価規準（本時 4 / 6時）

ねらい 円を含む複合図形の面積について、既習の求積可能な図形の面積を基にして分割して考え、図や式を用いて説明することができる。（思考力、判断力、表現力等）

評価規準 既習の求積可能な図形を基にして、図や式を用いて説明することができる。

問題場面

下の図で、色をぬった部分の面積を求めましょう。



T：前時までに、円や半分の円、 $\frac{1}{4}$ の円の面積を求めることができるようになりました。

T：この図形の面積を求めることができるでしょうか。

C：正方形の中に葉のような形があるけれど……。

C：正方形の一边を半径とする $\frac{1}{4}$ の円が重なっている図形だね。

C：重なり部分を求める公式ってあるのかな？

C：線を引いて求められる形にして計算したらどうかな。

T：どのように工夫したら求められるか考えましょう。

本時の学習課題 どのように考えたら、複雑な図形の面積を求めることができるだろう。

見通し



$\frac{1}{4}$ の円と正方形の面積を使って考えてみよう。



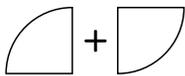
$\frac{1}{4}$ の円から直角三角形の面積を引いて考えてみよう。



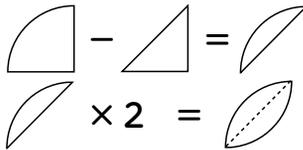
正方形から $\frac{1}{4}$ の円の面積を引いて求められないかな。

自力解決の様子

A つまづいている子
 $\frac{1}{4}$ の円が2つあり、面積も求められるが、その先がどうしたらよいか分からない。



B $\frac{1}{4}$ の円と直角三角形を基に考える子



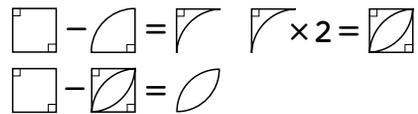
$$10 \times 10 \times 3.14 \div 4 = 78.5$$

$$10 \times 10 \div 2 = 50$$

$$78.5 - 50 = 28.5$$

$$28.5 \times 2 = 57 \quad \underline{57\text{cm}^2}$$

C 正方形から $\frac{1}{4}$ の円の面積を引いて考える子



$$10 \times 10 = 100$$

$$10 \times 10 \times 3.14 \div 4 = 78.5$$

$$100 - 78.5 = 21.5$$

$$21.5 \times 2 = 43$$

$$100 - 43 = 57 \quad \underline{57\text{cm}^2}$$

学び合いの計画

複合図形は、既習の図形がどのように組み合わせられているのか、見方を変えて考える必要があります。既習の図形にはどのようなものがあったのかを振り返らせ、今回の複合図形の中に見える既習の求積可能な図形を捉えられるようにします。

導入場面で提示された問題場面の図を捉えた活動をもとに、正方形、 $\frac{1}{4}$ の円、直角三角形など複数の図形が含まれていることを押さえます。そして、それらの既習図形の面積をたしたり引いたりすれば、求められることに気付かせることが大切です。

図形の組み合わせ方や求積計算が途中であっても、その考え方を全体で補足し、練り上げ、解決できるようにしていきます。

練り上げ段階では、まず直角三角形を使った解決方法（B児）を取り上げ、検討することで、 $\frac{1}{4}$ の円と直角三角形を工夫して用いることで複合図形の見方を広げるようにします。さらに、正方形と $\frac{1}{4}$ の円を用いる（C児）ことで“余白の部分”に着目して求積できることに気付かせます。

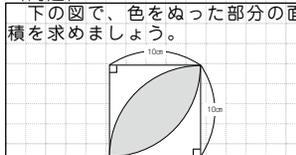
また、A児のようにつまづいている反応については、 $\frac{1}{4}$ の円を重ねると2つの $\frac{1}{4}$ の円の面積をたしたものから正方形の面積を引くと、重なる部分が求め

られることに気付かせることにより、誤答を生かそうとする態度も身につけることができます。

このように、既習を活用することにより複数の考え方がもてるようにすることが大切です。これ

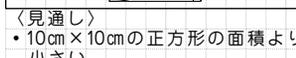
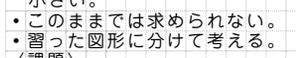
ノート例

○月○日
(問題)
下の図で、色をぬった部分の面積を求めましょう。

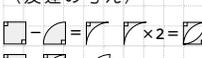
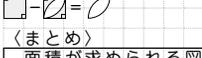
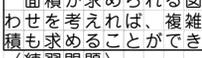


(見通し)
・10cm×10cmの正方形の面積より小さい。
・このままでは求められない。
・習った図形に分けて考える。

(課題)
どのように考えたら、複雑な図形の面積を求めることができるだろう。

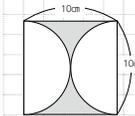
(自分の考え)
 × 2 = 

$10 \times 10 \times 3.14 \div 4 = 78.5$
 $10 \times 10 \div 2 = 50$
 $78.5 - 50 = 28.5$
 $28.5 \times 2 = 57$ 答え 57cm²

(友達の考え)
 × 2 = 


(まとめ)
面積が求められる図形の組み合わせを考えれば、複雑な図形の面積も求めることができる。

(練習問題)
色をぬった部分の面積を求めましょう。



■ - ○
 $10 \times 10 = 100$
 $10 \div 2 = 5$
 $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 \times 2 = 78.5$
 $100 - 78.5 = 21.5$
 答え 21.5cm²

らの過程において複合図形の中に基本図形を見だし、それらを式や言葉などで表し、求積方法が説明できるようにすることが重要です。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

- T: B児はどのように考えたのでしょうか。
 C: $\frac{1}{4}$ の円から直角三角形を引けば、色のついている部分の半分の面積が求められます。
 C: この図形の2つ分が答えになります。
 T: 正方形に対角線を引いて求めたのですね。
 T: C児は図形をどのように考えていますか。
 C: まず、正方形と $\frac{1}{4}$ の円の面積を求めます。次に、正方形から $\frac{1}{4}$ の円を引くと、はじめの白い部分の面積になります。
 C: その引いた図形が2つ分あるので2倍します。最後に正方形からその図形を引けば答えです。
 T: まず周りの白い部分を求めたのですね。
 T: では、A児の考えはどうでしょうか。この後、ど

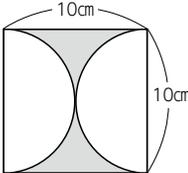
- のように考えれば求められるのでしょうか。
 C: $\frac{1}{4}$ の円を2つ重ねると、中央の色のついた部分2枚分になります。2つの $\frac{1}{4}$ の円の面積から正方形の面積を引くと、中央部分の面積になります。
 T:重なった部分に目をつけるのですね。
 T: では、それぞれの求め方で工夫したところをまとめましょう。
 C: どのやり方も、今までに学習した $\frac{1}{4}$ の円、正方形、直角三角形を組み合わせで面積を求めています。
 C: $\frac{1}{4}$ の円を基にして、 $\frac{1}{4}$ の円の面積から引いたり、 $\frac{1}{4}$ の円面積を引いたりして求めています。
 C: $\frac{1}{4}$ の円が重なっている部分に着目して、正方形の面積を引いても求められました。

まとめ

面積が求められる図形の組み合わせを考えれば、複雑な図形の面積も求めることができる。

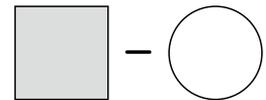
評価問題

下の図で、色をぬった部分の面積を求めましょう。



【子供に期待する解答の具体例】

正方形から半円2つ分をひいて求めた。
 $10 \times 10 = 100$
 $10 \div 2 = 5$
 $5 \times 5 \times 3.14 \div 2 \times 2 = 78.5$
 $100 - 78.5 = 21.5$ 21.5cm²



感想例

- これまで学習した図形に分けて、それらの部分の面積を求めると、複雑な図形の面積も求めることができました。
- 他の複雑な図形の面積も、どんな図形の組み合わせになっているのかを考えて、解いてみたいです。

6年 9月 算数科

単元名 拡大図と縮図

執筆 埼玉県上尾市立原市小学校教諭 小田木香純
編集委員 文部科学省教科調査官 笠井 健一
浦和大学教授 矢部 一夫

年間指導計画

4/5月	点対称 分数のかけ算
6/7月	分数のわり算（わる数が1より小さい） 割合の表し方（比、比と比の値）
8/9月	円の面積（色をぬった部分の面積） 拡大図と縮図（導入）
10/11月	場合の数 比例と反比例（反比例）
12/1月	資料の整理（度数分布表） データの活用
2/3月	6年のまとめ（1）（変化と関係） 6年のまとめ（2）（考える方法と表現）

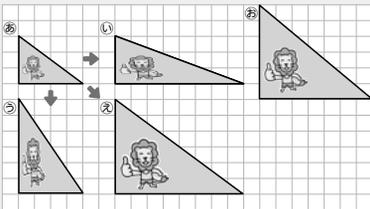
本時のねらいと評価規準（本時1／8時）

ねらい 拡大図、縮図の意味や性質について調べ、説明することができる。

評価規準 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味を基に、拡大図や縮図の意味を考えている。

問題場面

〇〇小学校のシールを作ります。
同じ形のまま大きくして目立たせたいと思います。



- T : 私たちの小学校のシールをもう少し大きくして同じ形のまま目立たせたいと思います。
- T : 大きくしますね。(横の長さを2倍にした㉠を提示する)
- C : え? 待ってください。違います!
- T : 大きくしたんだけど、何が違うの?
- C : 横に広がってしまって、もとのシールの形と違います。
- T : そうですか。では、どうしたらいいですか。
- C : 縦に長くしてください。
- T : 縦に長くしますね。(縦の長さを2倍にした㉡を提示する)
- C : え? 今度は縦に伸びてしまってもとの形と違います。
- T : 横に広げたり、縦に長くしたりしましたが、形が変わってしまいましたね。同じ形は作れないのでしょうか。
- C1 : 横にも縦にも3マスずつ伸ばしたらどうかな。(㉢)
- C2 : 横に2倍、縦にも2倍に伸ばしたらできるんじゃないかな。(㉣)
- T : なるほど。C1さんとC2さんのように、横も縦も同じように伸ばしてみたら、同じ形のまま大きくできるというのですね。(C1とC2の反応を取り上げ、全体に提示する)
- C : ㉢は同じ形に見えるけれど違うみたいだなあ。
- C : ㉣は㉠と同じ形だと思います。
- T : では、㉣が同じ形に見えるわけを考えましょう。

本時の学習のねらい ㉢と㉣が、大きさは違っても同じ形に見える理由を考えよう。

見通し 図形のどこに注目して調べたらいいかな。



合同な図形の際に辺の長さに着目したので、対応する辺の長さに注目して調べてみよう。



合同な図形は角の大きさが同じだったので、対応する角の大きさに注目して調べてみよう。

自力解決の様子

A つまづいている子

辺の長さや角の大きさを調べた後、どうしたらよいか分からない。

B 辺の長さの関係に気付かない子

角の大きさは等しいんだけど、辺の長さの関係はどうなっているんだろう。

C ねらい通り解いている子

対応する角の大きさがすべて等しく、辺の長さがどれも2倍になっている。

学び合いの計画

「何が同じだと同じ形に見えるのか。また、何が違うと同じ形に見えないのか」と問いかけて話し合いをさせ、合同な図形の際に着目した角の大き

さと辺の長さに目を向けさせることにより、「同じ形に見える形どうしはどのような関係になっているか」を明らかにしていきます。調べて分かつ

た数値や調べて気付いたことが見えるように板書にも話し合いの内容を残します。

また、㉔と㉕で成り立つ関係が、㉔と㉖、㉔と㉗、㉔と㉘では成り立たないことも分度器や物差しを使って確かめていくことで、「同じ形」の概念を明らかにできます。

さらに本時の学習では、㉔の図形は、㉕の図形に対応する辺の長さは1:2なので「2倍の拡大図」というように図形間の大きさを、割合や比を用いて表すことをおさえます。このような2量の関係の表し方につまずく児童が多いため、「もとにする図形㉔の辺の長さを1とみたときに、㉕の対応する辺の長さは2にあたる」ということを丁寧におさえ、比で表しているC児の考えと結び付けていくことが大切です。

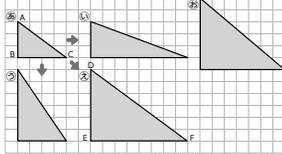
子供のノート例

○月○日(○)

〈問題〉
 ○○小学校のシールを作ります。同じ形のまま大きくして目立たせたいと思います。

〈課題〉
 大きさは違っても同じ形に見える理由を考えよう。

〈見通し〉
 ・対応する角の大きさを調べる。
 ・対応する辺の長さを調べる。



〈自分の考え〉
 ・角の大きさ 対応する角の大きさがそれぞれ等しい。
 ・辺の長さ
 辺AB 3cm 辺DE 6cm
 辺BC 4cm 辺EF 8cm
 辺AC 5cm 辺FD 10cm
 対応する辺の長さはそれぞれ2倍の長さになっている。
 (友達への考え) 辺の長さの比を求めた。
 A:B:DE 3:6=1:2
 B:C:EF 4:8=1:2
 A:C:FD 5:10=1:2
 対応する辺の長さは1:2で、どれも比が等しくなっている。
 (評価問題) 形を小さくするときも、同じことがいえますか。
 ・対応する角の大きさはそれぞれ等しい。
 ・対応する辺の長さの比はどれも2:1で等しい。
 (まとめ)
 対応する角の大きさがそれぞれ等しく、対応する辺の比が等しいと、もとの図形と同じ形になる。
 (感想)
 対応する角の大きさを等しくしたり、対応する辺の長さの比を等しくしたりすると同じ形になるのがすごいと思いました。三角形以外の図形も調べてみたいですね。

全体発表とそれぞれの考えの関連付け

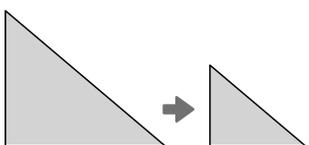
<p>C1 角の大きさに着目する</p> <p>㉔も㉕も角の大きさがすべて同じになりました。</p>	<p>C2 辺の長さに着目する</p> <p>㉔辺AB 3cm ㉕辺DE 6cm ㉔辺BC 4cm ㉕辺EF 8cm ㉔辺AC 5cm ㉕辺FD 10cm</p> <p>形が同じ㉔と㉕の対応する辺の長さは、㉔から㉕にそれぞれ2倍の長さになっている。</p>	<p>C3 辺の長さに着目し比で表す</p> <p>AB:DE 3:6=1:2 BC:EF 4:8=1:2 AC:FD 5:10=1:2</p> <p>形が同じ㉔と㉕の対応する辺の長さは1:2で、それぞれ比が等しくなっている。</p>
---	---	--

- T: C2さんの考えの「2倍」というのはどういう意味でしょうか。
- C: 例えば辺ABの長さを1とみたときに、辺DEの長さは2にあたります。
- C: ㉔の三角形の辺の長さをもとにしたときに、対応する辺の長さがそれぞれ2倍になっている。
- T: C2さんの考えと似ている考えはありますか。
- C: C3さんは、比で考えています。対応する辺の長さを比で表すと、AB:DEは3:6で比を簡単にすると1:2になります。それぞれを比で表すと、すべて1:2で比が同じになります。
- T: なぜ似ているといえるのですか。

- C: ㉔を辺の長さを1とみると、㉕のそれぞれの辺の長さがどれも2にあたるどころが似ています。
- C: 1:2ということは、㉕の辺の長さは㉔の辺の2倍になっているということだからです。
- T: 1:2というのは、もとの㉔の辺の長さを1とみると、㉕の対応する辺の長さは2とみられるということですね。では、大きさは違っても同じ形になるわけをまとめましょう。
- C: 対応するすべての角の大きさが同じで、対応する辺の比が同じだと同じ形になります。
- C: だから、㉔は同じ形にならなかったんだね。

まとめ

対応する角の大きさがそれぞれ等しく、対応する辺の比が等しいと、もとの図形と同じ形になる。

<p>〈評価問題〉</p> <p>形を小さくするときも、同じことがいえますか。</p> 	<p>【子供に期待する解答の具体例】</p> <p>※図を調べて確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応する角の大きさはそれぞれ等しい ・対応する辺の長さの比はどれも2:1で等しい。 <p>なので、図形を小さくしても同じことがいえる。</p>
---	---

感想例

対応する角の大きさを等しくしたり、対応する辺の長さの比を等しくしたりすると同じ形になるのがすごいと思いました。三角形以外の図形も調べてみたいですね。

6年 8月 体育科

単元名 ボールを打って、全力で走ろう みんなで楽しく Let's 「ソフトベースボール」 ボール運動 ～ベースボール型～

執筆 福岡教育大学附属小倉小学校教諭
編集委員 国立教育政策研究所教育課程調査官
福岡県北九州市立田原小学校校長
福岡県北九州市立大積小学校教頭

清水 悠也
塩見 英樹
中村 章
高瀬 哲義

年間指導計画	
4/5月	器械運動（鉄棒運動） 陸上運動（ハードル走）
6/7月	体づくり運動（体の動きを高める運動） 水泳運動
8/9月	ボール運動（ベースボール型） 陸上運動（走り高跳び）
10/11月	ボール運動（ゴール型） 器械運動（マット運動）
12/1月	体づくり運動（体の動きを高める運動） ボール運動（ネット型）
2/3月	器械運動（跳び箱運動） 表現運動（表現）

授業づくりのポイント

高学年のベースボール型では、中学年のベースボール型ゲームの学習を踏まえ、味方からゆっくりとした速さで投げたボールを自分に合った用具で打ったり、塁間を全力で走ったりする動きを身に付けることをねらいとしています。また、打球方向に移動し、捕球したり送球したりするなど、チームとして隊形をとって守る「ボールを持たないときの動き」を身に付けることもねらいとしています。勝敗を受け入れたり、場の設定や用具の片付けなどで分担された役割を果たしたりする態度を身に付けることも大切です。

一般的な「野球」のルールでそのまま行くと、技能差が出やすかったり、ルールが難しすぎたりして、楽しさを味

わいにくなります。そのため、どの子供もゲームを楽しむことができるように、プレイヤーの人数や得点の方法などのルールを工夫し、簡易化したゲームとします。バットでのけが防止のため、チームの待機場所や話し合う場所をホームベースのサークルから離れた所に設定し、安全に注意しましょう。また、仲間のよい動きを見付けて、仲間の考え方や取組を認める声かけを行いましょう。新型コロナウイルス感染症対策として、子供に授業前後の手洗いを徹底するように指導しましょう。そして、活動中は地域の感染レベルに応じて、適切な身体的距離を確保するようにしましょう。

楽しもう ～「ソフトベースボール」を楽しもう～

学習1では、まずベースボール型の特性を伝えると共に、「ソフトベースボール」のルールや行い方を知ることができるようになります。ゲームに取り組む中で、相手がいなくて打つことや、素早くアウトにするために打球方向に移動したり、近いアウトサークルへ送球したりすることが

ゲームのポイントになると気付くことが大切です。子供たち全員が得点を取る楽しさと得点されないように仲間と協力することの楽しさを感じることができるゲームを目指しましょう。

【学習1】簡単なルールを知り、「ソフトベースボール」を楽しもう

オリエンテーション

- 1 チームで整列をする
 - ・ピプスでチームごとに色分けをするとよい。
 - ※チーム編成は、「技能面」「人間関係」等を考慮して事前に決めておく。
- 2 学習の進め方を確認する
 - ・めあてを立てる。
 - ・準備運動をする。
 - ・安全について確認する。
 - ・簡単な練習（①・②）をする。
- 3 試しのゲームをする
 - ・ルールを確認し、ゲームを行う。
- 4 学習問題を設定し、単元の見通しをもつ
 - ・自己やチームの動きを振り返り、課題を見付け、単元の見通しをもつ。

○楽しく安全に活動するために

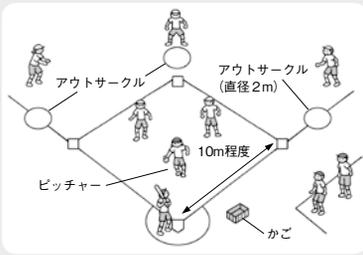
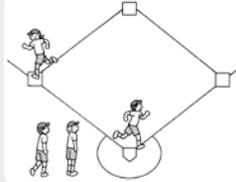
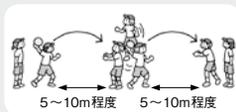
- ・学習の前後に手洗いをする。
- ・子供同士で審判を行い、アウトの判定が難しい時は、「やり直し」や「じゃんけんをする」という約束を決めておく。
- ・待機場所を決めておく。
- ・打った後、用具を投げない。
- ・ホームベースの周りにサークルを引き、バッター以外は入れないようにする。

簡単な練習

- ① キャッチボールゲーム（ゴロキャッチ、バウンドキャッチ）
チームで5～10mの間隔を空けて3カ所に並ぶ。（右図）端の人が投げたら、中央の人が捕球し、振り向いて向きを変え、反対側に送球する。（捕球して送球したら並んでいる列の後ろに移動し入れ替わる。）ボールの正面に入って捕球することを目指す。時間を決め、捕球することができた回数を競うと楽しくできる。
- ② ホームランゲーム
1人が2～3回思い切りボールを打って、飛距離を競う。いくつか目安となるラインを引き、点数を記録していく。ファールは0点とする。
- ③ ベースランニングゲーム
ホームベースからスタートし、ベースを3塁まで走る。（右図）感染症予防対策として次の走者は前の走者が3塁に着いたらホームベースからスタートする。リレー形式でチーム全員が走るタイムを計る。記録の伸びを競うと楽しくできる。

はじめのルール

- ・1チーム5～6人。守備は5人。
- ・味方のピッチャーが下投げで投げる。
- ・攻撃側の全員が打ったら攻守交替。4イニング制で行う。
- ・塁間は10m程度。（どの子供にも得点する喜びを味わうことができるように実態に合わせる。）
- ・バットやテニスラケットなどの用具は選択できる。
- ・ボールは、飛びすぎず捕球・送球しやすい柔らかいものを使用する。（直径10cm程度）
- ・打ったら用具はかごに入れる。（かごに入れたら1点。）
- ・ファールになった場合は、もう一度だけ打ち直す。
- ・アウトになるまでに到達したベースの数だけ得点とする。（攻撃側はアウトコールがかかるまで、何周でもベースを走り続けてよい。）
- ・アウトは、どこかのアウトサークルに送球し捕球したらアウトとする。（捕球は手に当たる、もしくは、アウトサークルに置いたボードを手に持って、当ててもよい。）



単元計画

	1	2	3	4	5	6	7
学習課題	学習問題を設定し単元の見通しをもつ	学習1 簡単なルールを知り、「ソフトベースボール」を楽しもう		学習2 攻めや守りの作戦を選び、「ソフトベースボール」をもっと楽しもう		「ソフトベースボール」大会をしよう	
0	※オリエンテーション 詳細は左ページ		準備運動				
45分	※コートは、ホームベースを中心に設置すると、子供の様子を見とりやすくなります。		簡単な練習 ・詳細は左ページ①②参照 「ソフトベースボール」全員打撃で交代の4インニング制		簡単な練習 ・詳細は左ページ②③参照 「ソフトベースボール」1 (2インニング制) ※チームの課題を見付ける。		ソフトベースボール大会を行う。 ・総当たり ・トーナメントなど
	Aコート Bコート Cコート Dコート		作戦・練習タイム ※見付けた課題を話し合い、作戦を選ぶ。		「ソフトベースボール」2 (2インニング制) ※選んだ作戦を試してみる。		
	振り返りをしよう (ルールやできるようになったことについて)		振り返りをしよう (チームの課題や作戦について)				

もっと楽しもう ～チームに合った作戦を選び、「ソフトベースボール」をもっと楽しもう～

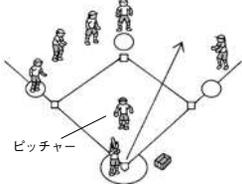
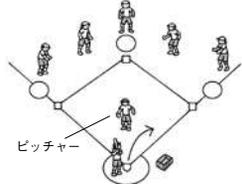
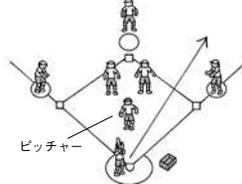
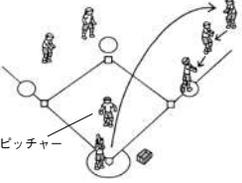
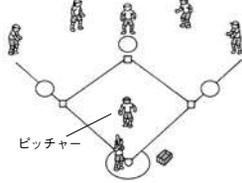
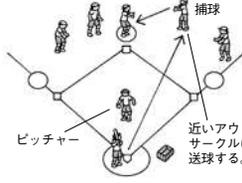
学習2では、簡単な作戦を提示し、自分たちのチームに合った作戦を選ぶことで協力しながら、楽しさが深まるようにします。子供の実態によっては走者の状況を判断して

送球するアウトサークルを決めたり、打球の行方によって進塁したり止まったりするなどのルールを追加したりすることで、中学校でのベースボール型の学習につながります。

【学習2】攻めや守りの作戦を選び、「ソフトベースボール」をもっと楽しもう

○作戦例

子供に簡単な作戦例を提示し、チームで選ぶことができるようにする。(作戦のネーミングをチームで相談して決めることでより意欲が高まります。)

【攻撃側の作戦例】		
⑦相手がいない、空いているところをねらって打つ。「右側が空いているからそこをねらって打とう」 	④守備の隊形によって、打つ強さを変える。「相手がさがっているから弱く打とう」 	⑧前に来ているから遠くに打とう 
【守備側の作戦例】		
⑨外野を超えたときは、中継を入れて早く送球する。「中継を素早くしてアウトにしよう」 	④打者によって守備位置を変える。「〇〇さんは遠くに飛ぶから後ろに構えよう」 	⑤打球方向によって送球するアウトサークルを決めておく。「2塁サークルでアウトにしよう」 

かわかり思考ツール①

【作戦ボード】

ホワイトボード (タブレットでもよい) にダイヤモンドをマジックペンで書き込みます。守備用のマグネットを5個とボール用のマグネット、ホワイトボードマーカーをリーダーが持つことで、話し合いがしやすくなります。また、作戦を可視化することで、チームの全員が作戦を共有できます。

かわかり思考ツール②

【応援カード・応援ボード】

振り返りで、お互いのがんばりを「応援カード」に書いて、「応援ボード」に貼り教室に掲示することで子供同士の関わり合いを作り出すようにします。

※応援カードの記入例

- ・攻め「人がいない場所に打っていたところがいいね」
- ・守り「中継を入れてアウトにしていたところがすごいね」

もっと楽しむためのルールの例 (子供の実態に応じて加えてもよい)

<アウトの仕方>

- ・フライボールを捕ったらアウトにしてもよい。
- ・走者が到達した塁よりも先の塁でアウトにし、そこまでの塁を得点としてもよい。その際は、ホームベース近くにもアウトサークルを加える。

<得点の仕方>

- ・打者はアウトになったところまで進み残塁とし、次の打者が打つ。ホームに帰ると1点としてもよい。
- ・常に2塁に走者を置いた状態でゲームを開始してもよい。(得点は、塁を進むごとに1点、2点、3点とする。2塁走者も同じように進んだ塁の数を得点とし、合計する。)

6年 9月 体育科

単元名 リズムカルな助走から、 力強く踏み切って跳ぼう！ 陸上運動 ～走り高跳び～

執筆 前福岡県北九州市立あやめが丘小学校主幹教諭
福岡県北九州市立永犬丸西小学校教諭
編集委員 国立教育政策研究所教育課程調査官
福岡県北九州市立槻田小学校校長
福岡県北九州市立若松中央小学校教頭

前田 哲宏
大野 正斗
塩見 英樹
安元 裕彦
鈴木 大聖

年間指導計画

4/5月	器械運動（鉄棒運動） 陸上運動（ハードル走）
6/7月	体づくり運動（体の動きを高める運動） 水泳運動
8/9月	ボール運動（ベースボール型） 陸上運動（走り高跳び）
10/11月	ボール運動（ゴール型） 器械運動（マット運動）
12/1月	体づくり運動（体の動きを高める運動） ボール運動（ネット型）
2/3月	器械運動（跳び箱運動） 表現運動（表現）

授業づくりのポイント

高学年の走り高跳びでは、試技の回数やバーの高さの決め方などのルールを決めて競争したり、自己の記録の伸びや目標とする記録の達成を目指したりしながら、リズムカルな助走から上体を起こして力強く踏み切り、はさみ跳びで跳ぶことができるようにします。競争では、自己の記録や目標とする記録の達成度によって、伸びが実感できるようなルール等を決めておきましょう。

また、目標記録を達成する学習では、自己の能力に応じた課題をもち、課題に応じた場を選んで練習しながら記録を高めることができるようにすることが大切です。

新型コロナウイルス感染症対策として、子供に授業前後の手洗いを徹底するように指導しましょう。そして、活動中は地域の感染レベルに応じて、適切な身体的距離を確保するようにしましょう。

楽しもう ～課題に応じた練習の場で楽しもう～

オリエンテーションでは、走り高跳びの目標や学習の進め方を確認し、実際に短い助走での試技をします。また、自身の身長と50m走の記録から走り高跳びの目安記録を設定し、子供の課題解決への意欲を高めるようにします。

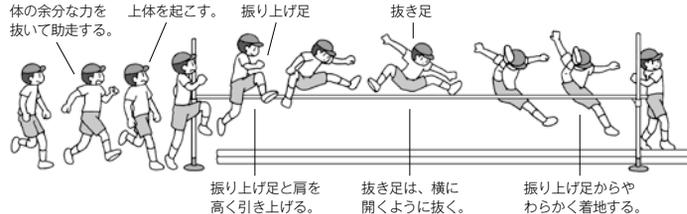
学習1では、まず、グループの友達と見合ったり、ICT機器を活用したりして、自己の課題を見付け、走り高跳びの動きのポイントや課題に応じた練習方法を選択できるようにします。

【学習1】課題を見付け、課題に応じた練習の場を選んで練習しよう

オリエンテーション

- 準備運動
- 学習の進め方の確認
 - 単元の目標
 - 単元計画、学習の流れ
- 安全についての確認
 - スタンドを倒れないように置く
 - バーや試技者の身体と接触しない位置に立つ
 - マットから落ちない位置で踏み切る
 - 走り高跳びの行い方を知る
 - 用具を安全に運ぶ等
- 試技をする
 - 5～7歩を助走で跳ぶ
 - 踏切り足を確認する
 - 一定のリズムを声に出しながら踏み切る
- 目安記録の設定
 - 身長と50m走の記録を基に、目安記録を設定する
- 振り返り・整理運動
- 7片付け

【左足踏み切りでのとび方】



仲間に見てもらったり、タブレット端末で自分の試技の動画を見たりして、課題を見付けられるようにしましょう。



【個々の課題に応じた練習の場】

① 「助走」の課題例

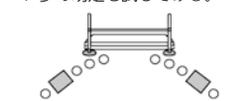
- リズムカルな助走ができない
- バー（ゴムひも）に対して、垂直に助走してしまふ

フープ助走

○バーに対してななめ（45°程度）にフープを置き、助走できるようにする。フープ助走や、アクセント助走

○踏切り板の場所ではアクセントをつけ、リズムを取りやすくする。

- 「トン、トン、ト、ト、トン」（助走5歩の時）のリズムで跳べるように、声に出しながら助走する。フープ助走や、アクセント助走に慣れてきたら、7歩の助走も試してみる。



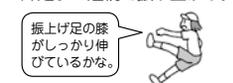
※苦手な子供に対しては、仲間や教師と一緒にリズムの声をしながら行う。

② 「踏切り→振り上げ足」の課題例

- 力強く踏み切れない
- 上体が起きていない
- 振り上げ足の膝が曲がる

2段階り

- 振り上げ足と踏切り足の動きを身に付ける。
- 手を肩の高さで地面と平行に伸ばし、その手をめがけて、片足ずつ連続で振り上げる。



踏切り板跳び
○踏切り位置に踏切り板を置き、強く踏み切って跳ぶ。

- 「パン」と大きな音を立てて、力強く踏み切るようにする。



③ 「抜き足→着地」の課題例

- 足や肩が高く上がっていない
- 抜き足がバーに当たってしまう

新聞紙棒まぎ越し

- 「助走」「力強い踏切り」「まぎ越し」の一連の動きを身に付ける。
- 2人組で1人が棒状に丸めた新聞紙を持ち、もう1人が3歩、5歩で跳び越える。

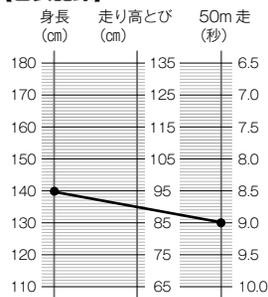


ゴムひも2本跳び

- ゴムひもを2本並べて跳ぶ。
- 踏切り足（抜き足）を横に開いて膝を引き付けるように跳び越える感覚をつかむ。抜くときには体を助走してきた方向にねじるようにする。
- ※スタンドが倒れないように、子供が支柱を持つなど支えておくようにする。



【目安記録】



単元計画

	1	2	3	4	5	6
学習課題	学習の見通しをもつ	【学習1】自己の課題を見付け、課題に応じた練習の場を選んで練習しよう				
		【学習2】グループで協力して活動し、得点をアップさせよう				
0	※詳細は、左ページの〈オリエンテーション〉を参照	場づくり・整列・準備運動・学習のめあてを確認				
		運動を楽しもう				
		<p><動きのポイントを知り、課題を見付けよう> 「助走」 「踏切り→振り上げ足」 「抜き足→着地」</p>	<p><個々の課題に応じた練習の場で練習をする> 動きのポイントと比べて自己の課題を見付け、解決に向けた練習方法を選んで練習します。 (自己の課題) ・「助走」 → フープ助走、アクセント助走 ・「踏切り→振り上げ足」 → 2段蹴り、踏切り板跳び ・「抜き足→着地」 → 新聞紙棒またぎ越し、ゴムひも2本跳び</p> <p>(個々の課題に応じた練習の場)</p>	<p><記録会をする> 実態に応じて、自己の目標記録への挑戦やグループ競争を行う場にするとういでしょう。</p>		
<p><グループで教え合って得点アップに挑戦する> もっと楽しもう</p> <p>「パワーアップタイム(学び合いの時間)」を行い、「ポイントチェック表」やタブレット端末等を活用して、動きの変化を見付けたり伝えたりします。その後、目安記録と記録との差を得点化したグループ競争を行いながら、記録の伸びを目指します。</p>						
45分	学習のまとめ、振り返り(動きのポイントを共有する)・整理運動					

もっと楽しもう ～仲間と協力して記録を伸ばし、グループ競争を楽しもう～

動きのポイントと試技者の動きを比べて、よくなった動きを見付けたり伝えたりする「パワーアップタイム(学び合いの時間)」を行います。「ポイントチェック表」やタブレット端末等で動きのポイントを確かめることができるようにし、動きの質とともに思考力、判断力、表現力等を高めていきましょう。グループ競争では、目安記録と記録との差を得点化します。得点の競争をすることで、

自己や仲間の記録の伸びを実感することができ、誰もが競争を楽しむことができます。試技が終わった後には、教師は、クラス全員の得点を合計し、その伸びに着目させることで、クラス全員で達成感を味わうこともできます。なお、地域の感染状況に応じて、試技をする場面や学び合いの場面では、適切な身体的距離の確保に努めましょう。

【学習2】グループで協力して活動し、得点をアップさせよう

<グループで教え合って得点アップに挑戦する>

【記録の得点表】

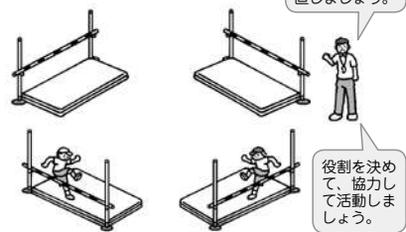
得点	目安記録との差(cm)
10	13～
9	10～12
8	7～9
7	4～6
6	1～3
5	0
4	-1～-3
3	-4～-6
2	-7～-9
1	-10～

【記録の得点表】



【場の工夫】

- 中央に向かって跳ぶ場を作り、教師は全体が視野に入る位置で指導します。
- バーの代わりに洗濯ばさみを付けたゴムひもを代用することもできます。ゴムひもに鈴や折った紙などを付けると、跳躍の成功、失敗の判定がしやすくなります。



【グループ競争の行い方】

- 1グループ4～6人
- 1人3回跳ぶ。
- 跳ぶ順番を決める。
- 跳ぶ人が言った高さにゴムひも等を合わせ、1人1回ずつ跳ぶ。
- 全員が跳んだら2回目、3回目を行う。
- グループの合計得点を競う。



振り上げ足がまっすぐに伸びている

かわり思考ツール

「ポイントチェック表」やタブレット端末を使って、動きのポイントについて伝えたり、よさを認めたりし、思考力、判断力、表現力等を高めることができるようにしましょう。

【ポイントチェック表の例】

ポイント	○△
助走のリズム	
足の裏が見える(ふり上げ足)	
横にぬいている(ぬき足)	
足から着地している	
記録	cm